

経済産業部

伝統的工芸品産業功労者等沖縄総合事務局長表彰について



Point

沖縄総合事務局では、伝統的工芸品産業の振興に関し顕著な功績があった個人等を表彰することにより、伝統的工芸品の国民生活への一層の浸透及び当該産業に携わる者の意識の高揚を図り、もって伝統的工芸品産業を振興することを目的に「伝統的工芸品産業功労者等沖縄総合事務局長表彰」を実施しています。

経済産業省では、昭和59年度から11月を「伝統的工芸品月間」と定め、全国各地において伝統的工芸品の普及推進事業を実施しています。

11月3日～7日には、「伝統的工芸品月間国民会議全国大会」が山口県萩市において開催されました。

沖縄総合事務局では、11月30日に当局特別会議室において、功労者表彰式を実施し、次の3氏が表彰を受けました。

功労賞（組合役員）

琉球びんがた事業協同組合

金城 盛弘氏

功労賞（伝統工芸士）

琉球絣事業協同組合

大城 トミ子氏



伝統的工芸品産業功労者等沖縄総合事務局長表彰受賞者の皆様
前列左から金城氏、大城氏、伊元氏

功労賞（公的機関の職員）

沖縄県工芸技術支援センター

伊元 幸春氏

金城氏は組合役員として産地の振興に貢献したこと、大城氏は伝統的技術の継承と後継者の

育成に貢献したこと、伊元氏は研究活動や技術指導により産地の振興に貢献したことが評価されました。

また、第二十七回伝統的工芸品月間図画・作文コンクールでは作文の部において、宮古島市立砂川中学校2年の平良彩華さんが全国一位となる経済産業大臣賞（沖縄県知事賞を同時受賞）、宮古島市立城辺中学校2年の砂川佳那依さんが全国三位となる伝統的工芸品月間推進会議議長賞にそれぞれ選ばれ、全国大会記念式典において表彰を受けました。

他にも図画の部で大宜味村立喜如嘉小学校6年の嵩原輝子さんが沖縄総合事務局長賞、うる

ま市立伊波小学校5年の下地有芽さんが沖縄県知事賞、作文の部で宮古島市立城辺中学校2年の平安山梨紗さんが沖縄総合事務局長賞に選ばれています。

本コンクールは小中学生が伝統的工芸品に触れる良い機会です。来年度も多くの作品の応募があることを期待しています。

伝統的工芸品は、使い込むほどに味わいが増し、使い手の心にゆとりと安らぎをもたらしてくれます。

沖縄には、染織物、陶器、漆器など多くの伝統的工芸品が受け継がれています。皆様も日々の生活に取り入れてみてはいかがでしょうか。